

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	水辺のまちづくり刊行小委員会		主 査 名：村川三郎 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：加藤 信介
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・水と都市小委員会で議論・検討してきたことを中心に、水辺の持つ効用を平易に解説するとともに、水辺のまちづくりの実践例を紹介することを目的としている。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	村川三郎(広島大学) 上山肇(江戸川区) 石川嘉崇(電源開発) 市川尚紀(近畿大学) 大橋南海子(まちづくり工房) 岡田昌彰(近畿大学) 坪井塑太郎(立教大学) 畔柳昭雄(日本大学) 岡村晶義(アヒ鯨) 土屋十園(前橋工大) 長屋静子(環境と川研究所) 久隆浩(近畿大学) 山田圭二郎(セントラルコンサルト) 渡辺秀俊(三洋FMリソ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 水辺のまちづくり 住民参加の親水デザイン、日本建築学会編、技報堂出版
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会活動を通して得た成果を図書として刊行(「水辺のまちづくり」)
委員会活動の問題点・課題	

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初予定していたとおり、委員会活動をとおして得た結果を 図書として刊行し、当初の目的を達成することができた。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。